

**第9期環境行動計画を策定**  
事業活動全体における環境負荷低減と持続可能な社会への貢献を目指す

当社グループは、2030年度までの中期環境計画の達成に向け、2019年度から2022年度の4年間で取り組む「第9期環境行動計画」を策定いたしました。

「第9期環境行動計画」は、第8期環境行動計画（2016～2018年度）に掲げた4つの柱（「温暖化対策」「資源循環」「化学物質管理」「環境社会貢献」）に継続して取り組むとともに、「サプライチェーンを含む温室効果ガス排出量の削減」、「再生可能エネルギーの利用拡大」、「CSR調達<sup>※1</sup>体制の強化」を新規テーマとして設定し、社会動向の変化にともなう環境課題への対応策を強化させています。

当社は「第9期環境行動計画」に基づき、気候変動問題への対策を着実に実行し、環境負荷低減と持続可能な社会への貢献を目指します。

【「第9期環境行動計画」の主な取り組み】

（下線太字は新規テーマ）

カテゴリー	2022年度末までの目標
温暖化対策	<u>サプライチェーンを含む</u> 事業活動全体の温室効果ガス排出量の削減を推進する。
	<u>再生可能エネルギーの利用割合を使用電力の5%以上に拡大する。</u>
資源循環	省資源化設計の推進ならびに水資源有効活用の推進を強化する。
化学物質管理	サプライチェーンにおける化学物質管理体制を強化する。 <u>CSR調達体制を強化する。</u>
環境社会貢献	事業所毎に自治体、NPOと連携し地元根差した貢献活動を継続する。

※1 CSR調達： 部品や部材、原材料の取引先に対し、資源の枯渇や環境・社会・人権に配慮し、法令を順守するなどのCSR(企業の社会的責任)を求めること。

## 【ご参考】中期環境計画について

当社グループは、中期的に達成すべき温室効果ガス排出量の削減目標として、2016年に中期環境計画を策定しています。全社員が目標を共有して「商品力強化」と「経営効率向上」に取り組み、環境負荷低減と企業価値向上の両立を目指します。

### 1) 「お客様や社会のための活動」

**国内における当社製品の使用によるCO<sub>2</sub>排出量を2030年度までに28%削減(2013年度比)**

日本国内で販売、使用されるエアコンの1台あたり平均CO<sub>2</sub>排出量において、2030年度までに28%削減(2013年度比)を目指します。環境負荷低減に寄与するとともに、省エネ性に優れた高付加価値エアコンの開発力を高めて、商品力強化を目指します。

なお、海外向けエアコンについても、省エネ性をさらに高めたエアコンの開発を進め、環境負荷低減に努めてまいります。

### 2) 「自らの環境負荷低減のための活動」

**当社グループ全体の事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量を2030年度までに30%削減(2013年度比)**

全事業プロセスに潜在するムダを削減するとともに、プロセスを見直すことによる改善・改革などを進め、2030年度までに連結売上高原単位<sup>※2</sup>で30%のCO<sub>2</sub>排出量削減(2013年度比)を目指します。

全事業プロセスで省資源化や省エネルギー化などを進めることで、環境負荷低減と経費節減による経営効率向上に努めます。

※2 連結売上高原単位： 連結売上高1億円あたりのCO<sub>2</sub>排出量。